

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 20 日作成)

| | | |
|---------------------------|--|---|
| 小委員会名 | 比較居住文化小委員会 | |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築計画委員会 | |
| 設置期間 | 2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月 | |
| 設置目的 各年度活動計画 (箇条書き) | 1 海外の居住文化を扱った研究事例の整理と集積 2 研究者相互の研究交流の場の確保、海外の研究者とのネットワークづくり (フォーラム開催とインターネット、メーリングリスト) 3 フィールドワークを設計、教育に生かす方法についての検討 4 住まいの原型をさぐり、地域に根ざしたデザインの本質を考察する 5 フィールドワークの方法・技術についての情報の集積、フィールドワーク をおこなうためのマニュアルの作成 上記の目的のために、年度ごとに、フォーラムの開催、2004 度から出発するホームページによるネットワークづくり、データベースの充実をはかり、そのなかで、最終的にフィールドワークマニュアルも完成させていく。 | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：有 乾尚彦(学習院女子大学)・井上えり子(京都女子大学)・月舘敬栄(八戸工業大学)・岡田知子(西日本工業大学)・菊地成朋(九州大学)・熊谷広子・佐藤浩司(民族学博物館)・永瀬克己(法政大学)・畑聰一(芝浦工業大学)・藤井明(東京大学)・是永美樹(東京工業大学)・山本直彦(滋賀県立大学)・田上健一(九州大学)・橋本憲一郎(東京大学)・角本邦久(関東職業能力開発大学校) | |
| 設置 WG | なし | |
| 2005 年度予算 | 135,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：da.gwc.gakushuin.ac.jp/hc/ |

| 項目 | 自己評価 |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 1 回(年度内計画を含む) メーリングリストによる会議を行っている。 |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | なし |
| 講習会 | なし |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 小委員会のインターネットサイト運営。 |
| 大会研究集会 | なし |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | なし |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1．公開フォーラムは開催できず、内部の研究会のみになってしまった。 2．インターネットのサイトを活用して、ネットワークづくりを計画。しかし、十分な成果はあげることができなかった。 3．調査マニュアルについては、委員ごとに作成中で、来年度からまとめにはいる予定で進んでいる。 |

| | |
|------------------|---|
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1．サイトの活用について、必ずしも当初の意図がいかされていない。任意にデータを追加できる参加型のサイトだが、データの蓄積、整理をするためのワーキンググループの設置が必要と思われる。来年度の課題としたい。 2．インターネットでのネットワークづくりは、軌道にのったとしても一定の限界がある。また、現状では、それに依存することによって委員会活動自体が緩慢になっていることが問題である。かつて本小委員会で活発に実施していた公開フォーラムを再興する必要があり、その企画を現在おこなっているところである。 |
|------------------|---|

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。